

しんぶんはいたつ まな けいけん せいちょう
新聞配達から学んだ経験と成長

SHWE YEE WIN

(シュエ イー ウィン)

しゅっしんち

出身地：ミャンマー

みなさん、こんにちは。わたしはシュエ イーウィンと申します。ミャンマーからまいりました。今日は「新聞配達から学んだ経験と成長」について発表させていただきます。

日本に来たばかりの外国人にとって、日本での生活は決して簡単ではありません。みなさんは何が一番大変だと思いますか。私にとっては日常生活や日本語の勉強だけでも大変ですが、その中で一番大変だと感じたことはアルバイトです。私は日本に来てから新聞配達のアパートを始めました。

みなさん、新聞配達の仕事について何か話を聞いたことがありますか。新聞配達には大変なことがたくさんあります。一番初めの苦労はバイクの免許を取ることでした。日本に来たばかりの私は日本の交通ルールを全く知りませんでした。私の国のミャンマーは右側通行ですし、日本ほど交通標識もありません。そのため、日本の交通ルールの試験を受けるのはとても難しかったです。知らないことばかりだったので、テキストや問題を使って、自分で何度も練習しました。その努力のおかげで合格することができました。

しかし、無事に免許が取れた後も大変なことがありました。それは「不着」です。みなさんは「不着」という言葉を聞いたことがありますか。「不着」というのはアルバイト先でよく使う言葉で、新聞がお客様の家に正確に届いていないという意味です。新聞配達では、毎日たくさんの新聞の種類をすばやく一軒ずつ正しく配ることが大切です。私は仕事に慣れていないころは、よく間違っ配達してしまいました。そんな時は店長から、「不着はだめですよ」とよく注意されました。私は「不着」をなくすために、何ができるか考えました。休みの日に、一軒ずつ正しく配れるように、バイクに乗りながら表札を見て練習しました。毎日休まないでがんばったので、2週間で全部覚えることができました。大変なことが多い仕事ですが、嬉しいこともあります。早朝にも関わらず、玄関先で新聞を待っているお客様に「おはよう。ごくろうさま」と言ってもらった時は、とてもやりがいを感じます。

現在、私は一日に300軒ほどの新聞を配っています。毎日仕事を始める前にはバイクに新聞を載せて準備します。その時に載せた山積み新聞が、仕事を終えるころにきれいにな

なくなった時は、本当に気分がいいです。今日も全て正確に配り終えることができたので、とてもうれしかったです。

みなさんが仕事をする時にも、様々な困難にあうことがあるでしょう。私のようにミスをしたこともあると思います。でも、そんな時[もあきらめないで前を向きましよう](#)。経験を積みながら、[どうやれば解決できるのか](#)をよく考えて行動すれば、[きっとうまくいくと私は信じています](#)。

以上で、私のスピーチを終わります。